



































名瀬市指定文化財

小湊フワガネク遺跡群

指定場所 名瀬市小湊字外金久377外3筆

指定種類 史跡

指定年月日 平成14年3月22日

小湊フワガネク遺跡群は、「奄美看護福祉専門学校」が建てられている海岸砂丘の一角に広がる大型遺跡で、その面積は約25000㎡に及んでいます。

これまでに6回の発掘調査が行われていて、およそ4世紀から12世紀に至るまで、約800年の長い期間にわたり遺跡が営まれていた事実がわかりました。

中でも7世紀前後に位置づけられる遺跡が広範囲に認められ、奄美諸島特有の土器である久式土器をはじめとして、ヤコウガイ製貝殻、イモガイ製貝乳、貝製玉類等の南西諸島特有の多彩な貝器、そして鉄器、石器等が出土したほか、竪立柱建物跡4軒、貝器製作跡5箇所等の遺構も確認されています。

ヤコウガイ製貝殻やヤコウガイ貝殻は、特に大量出土していて、意外へ運び出された様子もうかがわれます。そうした遺跡は、南西諸島の中でも数例しか確認されていません。ヤコウガイは平安時代には貴族達から宝物としてたいへん珍重され、鍔の材料に用いられた貝殻だけに、小湊フワガネク遺跡群におけるヤコウガイ貝殻の大量出土は、たいへん注目されています。

小湊フワガネク遺跡群は、そうした重要な資料が豊富に残されていることから、南西諸島全体の歴史を解明する上で、欠かすことができない文化財として位置づけられています。

平成16年4月23日 名瀬市教育委員会





































よく学び 仲良

んばる

～一人一人がキラキ

く学校～

生活目標

保健目標

11月の生活目標

11月の保健目標



時計を見て行動しよう。

- 一、図書室の本をたくさん読もう。
- 二、下校時刻を守ろう。

歯みがき名人になろう。



みんな仲良くしよう

友だちのすてきなところを

みつげよう。





















